

社会科学習指導案

平成 17 年 10 月 6 日～19 日

学級： 県立中央中等教育学校 1年 1,2,3,4 組

指導者： 企画調査 G 長期研修員 小林 禎

単元名 都道府県を調べよう ～群馬県～

単元の考察 (...省略)

単元の目標

群馬県の地理的事象を追及する活動を通して、群馬県の特徴をとらえるとともに、他の都道府県をとらえる視点や方法を身に付けさせる。

評価規準

	十分満足できる状況	おおむね満足できる状況
社会的事象への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 自分で積極的に集めた資料や、他の生徒に意見から、群馬県の特徴を意欲的にとらえようとする。 群馬県の課題を自分にも関わりがあることととらえ、解決するための方策を積極的に考えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた資料や、他の生徒の意見から、群馬県の特徴をとらえようとする。 群馬県の課題に対して、解決するための方策を考えようとする。
社会的な 思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県の特徴を、資料に基づいて多面的・多角的に考察する。 群馬県をよりよくするための方策を、社会的な条件を考慮して自分なりに考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県の特徴を、資料に基づいて考察する。 群馬県をよりよくするための方策を、自分なりに考える。
資料活用の 技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、地図や統計資料を正しく読み取る。 群馬県の特徴を端的に表現し、観光用ポスターとして他者に分かりやすくまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図や統計資料を正しく読み取る。 群馬県の特徴を、観光用ポスターとしてまとめる。
社会的事象に ついての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県は多様な地域から成り立っていること、全国的に見て特色のある産業があることを、地域ごとの差異や全国的視野に立って具体的に理解し、知識を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県は多様な地域から成り立っていること、全国的に見て特色のある産業があることを理解し、知識を身に付ける。

指導方針

つかむ過程では、群馬県の多様性に気付かせるために以下のような手だてを用いる。

- ・県内数カ所の景観写真を提示する際、都市部、自然が豊かな山間部、自然を生かした産業が盛んな地域を提示する。
- ・群馬県発行の冊子やWebのフリー百科事典に載っている、全国から見た群馬県のイメージである「3K」とは何か考えさせる（3Kは、「雷」「空っ風」「かかあ天下」の頭文字）。
- ・事前に書いた、居住市町村から見た群馬県のイメージを発表させる。
- ・地図帳を用い、地図上の情報を、記号や地形を表す色などに注目して読み取らせる。
- ・事前に書いた名刺を、口頭で説明しながら交換させる。名刺には、自分の名前と一緒に、居住市町村の有名なものや特色が書かせておく。

追究する過程では、自然や農業、交通など様々な観点から群馬県をとらえ、自分なりの意見を持たせるために以下のような手だてを用いる。

- ・上毛カルタの札に詠まれた自然の中から、群馬県のことを紹介するという観点から「群馬県のシンボル」を考えさせる。自分なりの意見を持たせた後で、グループで話し合う機会を持ち、シンボルを一つに決めさせる。意見をすりあわせ、妥当な意見を取捨選択させる。
- ・様々な資料に基づき理由をはっきりさせ、群馬県の農業の主役は何か考えさせる。自分の意見を持たせた後で、グループ内で意見交換をさせる。他の意見と比較して、自分の意見をよりよいものにさせる。
- ・交通の発達している地域を、地形や工業、人口などと関連させて考えさせる。
- ・(見たり、乗車したりなど)生活経験がある生徒が多いコミュニティバスについて、利用増加策を考えさ

せる。利用が少ない理由を考えた後、それを改善するという観点から増加策を考えさせる。
 まとめる過程では、群馬県の特徴を総合的にとらえるために、ポスターの制作をした。学習してきたことを生かして、よさが伝わるようなものを制作するよう、指導した。ポスターはクリアブックに入れ、誰でも見ることができるようにする。

興味・関心を高めるために、以下のような郷土教材を活用する。

- ・生徒に馴染みのあるもの（学校周辺の写真、上毛カルタ）
- ・意外性のあるもの（車社会・群馬、群馬の3K）
- ・視覚に訴えるもの（景観写真などの画像資料）
- ・日本有数のもの（車社会・群馬、嬭恋村の高原キャベツ）

単元全体を通して、生徒の興味・関心を持続し、理解をしやすくするため、必要な画像や指示等をスライドショーにまとめ、プロジェクターで投影する。

単元全体を通して、生徒が思考しやすくするため、また授業後に学習を振り返ったり、発展的に学習をしたりしやすくするため、資料プリントを配布する。

単元全体を通して、自分の学習してきたことや群馬県のイメージを振り返りやすいよう、単元前調査と自己評価カードを1枚にする。自己評価カードを書く時間を時間内に設定し、学習して分かったことと思っただけを書かせる。生徒の様子を把握するため、自己評価カードは授業ごとに回収する。

指導計画

	主なねらい(形態)	学習内容	主な指導・支援	評価(評価方法)(観点)
つかむ	1	群馬県は多様な地域から成り立っていることに気付く(個人・一斉)	群馬県はどんなところ？	<p>写真は、県の多様性が分かり、次時以降の学習に関連するものを用意。学校周辺の写真から見せ始める。「3K」は「雷」「空っ風」「カカア天下」のことだが、それ以外の答えが出て認めしていく。</p> <p>情報量が多い地図帳の地図を使う。居住市町村や学校の位置には、見つけたら指を置かせ、隣の者と確認させる。名刺には、自分の名前と居住市町村の名前を書かせるとともに、位置や特色、特産物などをイラストで描かせておく。口頭で紹介しながら、数人と交換させる。名刺をもらった後、位置や特色などの情報を白地図に書かせ、自分の居住市町村との位置関係を把握させる。</p> <p><u>[評価]群馬県内には多様な地域があることに気付く。</u></p> <p><u>(自己評価カード)(興)</u></p> <p>自分の書いてきた意見も大切にしながら、本時の学習で調べて分かったこと、他の人の意見も取り入れて考えさせる。</p>
		群馬県の自然の概要を理解する(グループ・一斉)	2	<p>群馬県の地形や気候に関する写真を見て、前時の復習をするとともに、本時の学習内容について知る。副読本掲載の断面図や景観写真を読み取ったり、説明を聞いたりする。上毛カルタには、群馬県のどんな自然が詠まれているか考え、白地図に書き入れる。この活動を通して、県内には様々な地形があることに気付く。上毛カルタの自然を詠んだ札の中から、群馬のシンボルには何がふさわしいか考える。本時の学習を終了した時点での「群馬県はどんなところ」を考えて書く。</p> <p>前時と同じ写真を使用し、前時の学習を想起させる。この活動に取り組みやすいよう、上毛カルタの詠まれた自然の画像も使用する。資料活用技能を身に付けさせるため、断面図の読み取りでは、標高や2点間の距離を確認する。ワークシートの白地図に、学校所在地、居住市町村の位置、利根川や上毛三山等、上毛カルタに詠まれている地形を書き入れさせる。白地図は作業がしやすいよう、副読本と同縮尺のものを用意する。群馬県のことを紹介するとしたら、という観点でシンボルを考えさせる。考える参考に、カルタに詠まれた地形等の写真と、簡単な説明を載せた資料プリントを配布する。自分の意見をプリントに書かせ、態度を表明させる。クラス全体の意見を確認し、その後、4人程度のグループを作り話し合いを行う。選びやすいよう、話し合いがしやすいよう、札は予め7つ選んで提示する。</p> <p><u>[評価]群馬県のシンボルを考える。(ワークシート)(考)</u></p> <p><u>[評価]群馬県の自然の概要を理解する。(ワークシート)(知)</u></p> <p>主に自然の面から見た群馬県について書かせる。名詞の羅列にならないように助言をする。</p>
追究する				

3	群馬の農業	<p>群馬県の農業の概要を理解する (グループ・一斉)</p> <p>「嬭恋村の高原キャベツ物語」を聞いた り、文書資料を読み取ったりすることで、 農業は気候や地形などの自然条件や消 費傾向などの社会条件に左右されること に気付く。 主題図やグラフなどの資料、副読本など の文書資料から、群馬県の農業の特色を 理解する。 群馬県の農業の主役は何か、討論をす る。 本時の学習を終了した時点での「群馬県 はどんなところ」を考えて書く。</p>	<p>「嬭恋村の高原キャベツ物語」は自作し、写真を提示しなが ら、教師が話をする。環境条件との関連、農家の絶え間な い工夫と苦勞について説明する。 群馬県の農産物といえば何か想起させた後、統計のグラフ 資料をする。興味・関心を高めるため、個別農産物出荷額 上位 10 品を予想させてから資料を提示する。 主役は畜産、野菜作り、果物作り、米作りの中から選ばせ る。プリントに自分の意見とその根拠を書き、立場を明確に してから、4人程度のグループ内で討論をさせる。様々な考 え方を認め合い、根拠を大切にすることを言うことが大切 であることを事前に説明する。 <u>[評価]資料を的確に読み取る(ワークシート・観察)(資)</u> 主に農業の面から見た群馬県について書かせる。討論の 結果や、そのとき考えたことも盛り込んで書かせる。 <u>[評価]農業の概要を理解する</u> <u>(自己評価カード、ワークシート)(知)</u></p>	
	4	群馬の工業と交通	<p>資料を的確に読み取り、社会に対して関 わりようとする意欲を高める(個人・一斉)</p> <p>「車社会」と群馬県が言われているのはな ぜか考え、学習に対する興味・関心を持 つ。 統計資料のグラフから、群馬県の工業の 特色や全国的な地位を理解する。 交通の様子と人口の概要を調べ、交通が 発達しているのはどういうところか考えさ せる。 コミュニティバスの長短を考えた上で、利 用を増やしていくためにはどうしたらよ いか、自分なりに考える。 本時の学習を終了した時点での「群馬県 はどんなところ」を考えて書く。</p>	<p>群馬県が昔「くるま」という名前だったこと、自動車の普及率 や運転免許の保有率が全国でも高いこと等を説明する。 富士重工業の前身・中島飛行機との関連を簡単に説明す る。工業生産額上位五都市の概要についても、簡単に説 明をする。 考えやすいよう、鉄道や高速道路、国道が集中している状 態を「交通が発達している」とする。人口や工業、地形と関 連づけて考えるよう指示する。 コミュニティバスが導入されている背景、利点、運行の様子 等について説明する。考えやすさと興味・関心を高めること を考慮して、学校の近くを走る高崎市営の「ぐるりん」京ヶ島 線のを提示する。実感を持ち、社会参加への意欲が持 ちやすいよう、公共交通機関等の長短は生徒の生活経験 に基づいて考えさせる。 <u>[評価]コミュニティバスの利用増加について、 自分なりに考える(ワークシート・観察)(興)(考)</u> 主に交通面から見た群馬県について書かせる。今後、交 通についてどうなってほしいか、どう利用していきたいか、 などについても書かせる。</p>
			5	群馬はどんな県か